

勉強会のお知らせ。

仮称：災害防災意識向上勉強会

第1回 災害時のルールづくり

災害への備えをどうするか、大地震が起こったらどう対応するか。私たちの日常生活ではおもいもよらないような「決断すべき場面」にたくさん遭遇するでしょう。そんな決断の分かれ道のためのルールづくりをしようとしています。

状況が変われば?? 様々な問題を提起して基礎ルールをつくります。  
あなたならどうしますか。?

大きな地震のため、避難所に(学校)に避難しなくてはならない。しかし、家族同然の飼い犬(テス:ゴールデンリトリーバー、オス3歳)がいる。

一緒に避難所に連れて行く YES 連れてゆく ⇔ 置いてゆく NO

あなたは食料担当者です、被害から数時間。避難所に300人が避難しているとの確かな情報がえられた。現時点で確保できた食料は200食。以降の見通しは、今のところなし。

まず200食を配る? YES 配る ⇔ 配らない NO

あなたは主婦です、防災の為、風呂の残り湯を浴槽にためておくといわれる。しかし、浴槽がかびるかもしれないし、湯あかがつくと掃除が面倒。それに滅多に災害なんてこない。

それでも残り湯をためておく? YES ためておく ⇔ ためておかない NO

あなたは市民です、今、大地震の被害地で、救援活動のためのボランティア保険の費用(約700円)を、被災地の自治体がはらうか、ボランティア本人が払うかで、もめている。

自治体負担の意見に賛成する? YES 賛成 ⇔ 反対 NO

あなたは共働きの夫婦です、防災には近所づきあいが大事だといわれるが、地域自治会に入ると、集会やら一斉清掃やらお祭りやら、月に2回は行事に出なくてははいけない。仕事を抱えてそんな暇は無いとも思う。

それでも自治会にはいる? YES 入る ⇔ 入らない NO

このような問題を提起しながら、その地域に合ったルールを作ってまいります。

ルールづくり勉強会は準備が整いましたら順次行う予定ですので宜しく願いいたします。  
女性・男性で考えは違います、若い方、年配の方によっても考えは違います。  
時間や・場所また、又現在お住まいの建物の環境によっても考えは違ってきます。  
したがって適切な答えは無いかもしれません。  
ご一緒にルールづくりをしていただける方を募っております。

森田までご連絡下さい 090-3402-1276 03-3871-7871  
FAX03-3871-7874